

2013 8月号



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

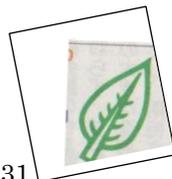
発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

2013年原水爆禁止世界大会

世界大会に375名参加!



☆2012年世界大会・広島大会閉会総会

民医連は、百十名の代表団を組織、堺市・耳原病院からは十八名が参加します。世界大会の学習会も各医療生協で開かれ、世界大会参加の意義をしっかりと学習されました。

大阪教職員組合からは三十七名が参加。本部からの「世界大会に参加し、子どもに平和の大切さを伝えよう」と呼びかけ、各単組から早いとくみを訴え、世界大会を組織しました。

地域からは西淀原水協から三十五名が参加し地域からでは最大の人数を派遣します。結団式も八月一日、高知から山下正寿さんを迎えてビキニ被災を学習を兼ねての集会を開きました。

吹田原水協からは山根事務局長先頭に十八名が参加。六月十五日に定期総会を開催し、「世界大会に吹田から多くの仲間を」の目標を決め、代表派遣を取り組んできました。

初めての参加者は約半数にのぼり、十五歳から二十九歳までの参加者は百五十名にもなっています

2013年原水爆禁止世界大会が七月末で申し込みが締め切られました。長崎大会に350名、広島大会に25名、合計375名が集約されました。この代表団を送るため、各団体、府下各地での大奮闘ぶりが報告されています。

100万署名推進しながら
各団体・地域での奮闘
最後まで続けられる



国民平和大行進でも先頭を歩き世界大会参加を訴え、見事参議員に当選したたつみコータローさん。当選翌日の七月二十二日、大阪原水協事務所にお礼の訪問がありました。事務所のスタッフ全員でバンザイを繰り返し、お祝いの花束をプレゼント。

「みなさんの期待に応えられるよう全力でがんばります」とコータローさんの決意表明があり、大きな拍手が送られました。

「核兵器全面禁止のアピール」署名

(2013年8月5日現在)

27万7456筆

8人全員勝訴の画期的判決

ノーモア・ヒバクシャ訴訟

国は判決命令に従い、控訴断念せよ！



勝訴判決の報告で喜ぶ岩田理事長と支援者の皆さん



8月2日、大阪地方裁判所は、ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟に関し、原告9人のうち、すでに認定されている1人を除く8人全員に対し却下処分を取り消し、「原爆症と認定せよ」とする勝利判決を言い渡しました。

午前11時すぎ、「全員勝訴」の旗が弁護士さんたちから掲げられると、待っていた支援者の方の「バンザイ」が何回も唱和され、原告の被爆者のみなさんと喜び合いました。国側は、2003年以来、連続して31回連続して敗訴しており、司法の判断を無視し続けている行政の姿勢が厳しく糾弾される判決となりました。

その後、中之島公会堂で開かれた判決勝利集会では、訴訟弁護団から今回の判決の意義が報告されました。

まず第1に、8月に被爆者が勝利する判決を出し、原水爆禁止運動や被爆者救済運動励ましたこと。第2に、原告全員の認定を認めたこと。第3に「ありがた検討会」が渋滞している中で、被爆者の全員救済ができる認定制度の確立にむけインパクトを与えたこと、があると報告されました。今後「控訴するな」の国への働きかけが迫られています。

「海外代表と語ろう！ピースインおおさか」楽しく開催



☆ガーソンさん、ピピッグさん、アバナさん、ファブロスさん

8月2日、中之島公会堂で「海外代表と語ろう！ピースインおおさか」が開かれ、会場いっぱいの80名が参加しました。海外からジョゼフ・ガーソンさん（アメリカフレンズ奉仕委員会、ユリヤ・ピピッドさん（ドイツ科学者連盟）、テレシータ・アバナさん（非核フィリピン連合）

マラヤ・ファブロスさん（フィリピン非核連合）が参加。

ガーソンさんからは、「2015年NPT再検討会議に向けて草の根からの運動を」、ピピッグさんからは「原発ゼロの世界が人類の生きる道」、アバナさんからは「日本の侵略を認めることから出発を」、ファブロスさんからは「国民平和大行進は世界にないすばらしい日本の財産」と発言。参加者から「平和をどう考えていますか」の質問などが出され、活発な集会となりました。